

くうとしの

—あなたがそばにいただけで—

寄り添うだけで

こんなに溢れる愛があるなんて。

認知症の犬・しのと、介護猫・くうの、感動の実話をもとにした道徳・人権教育アニメーションです。

もし、あなたの大切な人が認知症になってしまったら、あなたはその人に何をしてあげることができるでしょうか。

年も性別も違う犬と猫の関係性を通して、視聴した子供たちが自然と考える事ができる、心がほっこりする物語です。



〈原作〉

くうとしの 認知症の犬しのと介護猫くう

晴/作

辰巳出版刊

授業で使いやすい **学習指導案** **ワークシート** 付き

上映時間 12分 [C#2860] DVD 66,000円(税別) **字幕版付き**



道徳の授業における指導内容

- 主として他の人とのかわりに関する事 **思いやりの心 支え合い・助け合いの精神**
- 主として自然や崇高なものとのかわりに関する事 **生命の尊重 動物愛護**
- 主として集団や社会とのかわりに関する事 **父母、祖父母や友人への敬愛** など



学習に役立つ資料

東映教育映像部HPにて公開中>>>

授業で使いやすい **学習指導案** **ワークシート**

https://www.toei.co.jp/edu/lineup/school/1222210_2442.html

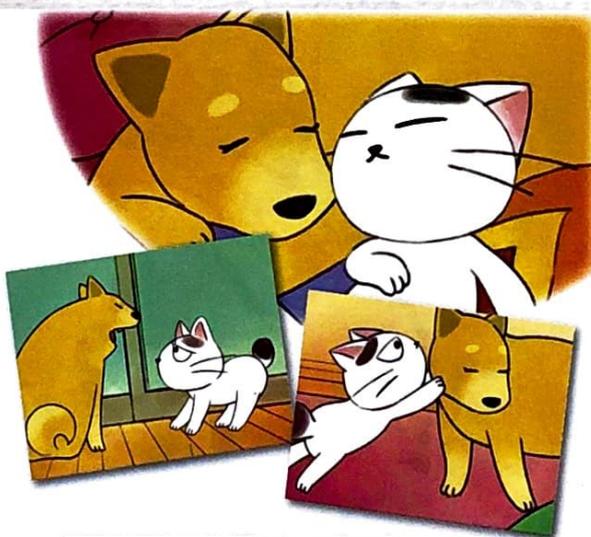
内容

くうとしのは晴(はる)ちゃんの家で暮らしています。最初の内は気持ちがいずれ違っていた二匹でしたが、くうはしのを毎日のように遊びに誘いました。そんな元気なくうを持って余しながら、少しずつしのも心を開いていき、二匹は仲良く暮らしていました。

しかし、半年が過ぎたころから、しのに認知症の症状が出始めます。まるで階段を降りるように老いていくし。でも、そばにはいつもくうがいました。しのガピンチの時には晴を呼びに来るのです。しの認知症と老化が進むにつれて、くうの介護の技も上達。たまに愛情表現が激しすぎてしのを困らせることもあるけど、匠の技でしのを支えました。

そして月日は過ぎ、しのは自力で起き上がることも、横になることもできなくなってしまいました。生活のすべてで介助が必要になり、表情も乏しくなり色々なことに無反応になっていくし。それでも、くうはしのそばから離れませんでした。しのはくうがそばにいと安心した表情になり、ひとりの時よりも長くぐっすり眠ることができました。くうの役目は介護だけではなく、残された時間で精いっぱい、しのに「大好き」を伝えることだったのです。けれども、別れは近づいていました…。

しのが旅立った後、くうは深い悲しみにじっと耐えるようにひとりで過ごしていました。しのがいた頃は元気いっぱいだったくうは、静かで穏やかな子になりました。まだまだ寂しさは消えないけれど、しのはお空の上でやさしく見守ってくれているはずです。



原作について

認知症の犬と介護猫の種を越えた愛の物語。Instagramフォロワー数74,000人の大人気アカウント「ひだまり日和」が書籍になりました。

くうとしの



著：ひだまり日和
イラスト：こぼり
発行：2020年

プロデューサー：笹谷将貴／沼田かずみ アニメプロデューサー：沼田友之介 音響監督：沼田心之介
演出：古村静香 脚本：照沼まりえ 音楽：蜂須みゆ アニメーション制作：株式会社トマソン
企画・製作：東映株式会社 教育映像部 © 晴／辰巳出版

2020年作品

予告編配信中!

<https://www.toei.co.jp/edu/>

教育映像

検索



東映株式会社 教育映像部

<https://www.toei.co.jp/edu/>

関東営業推進室 〒104-8108 東京都中央区銀座 3-2-17 ☎03-3535-3631
関西営業推進室 〒530-0001 大阪市北区梅田 1-12-6 ☎06-6345-9026
広島出張所 〒730-0015 広島市中区橋本町 5-2 ☎082-511-2066

● お買上げは